

# CASBEE® 名古屋

■ 使用評価マニュアル: CASBEE 評価指針2016年版、名古屋市環境総合政策推進課マニュアル2016

## 評価結果

使用評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)TRIAL西倉町店新築工事	階数	地上1F
建設地	名古屋市港区西倉町102番1、104番、105番1	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	80 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	物販店、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年10月 予定	評価の実施日	2025年10月10日
敷地面積	16,439 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	5,593 m <sup>2</sup>	確認日	2025年10月22日
延床面積	5,511 m <sup>2</sup>	確認者	

  

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)	
BEE = 1.4 ★★★★		30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆ 80%: ★☆☆ 100%: ★☆ 100%超: ☆			
S: ★★★★★ A: ★★★★ A': ★★★★ B: ★★★ B': ★★ C: ★		標準計算			

  

2-4 中項目の評価(バーチャート)					
Q 環境品質					
Q1 室内環境			Q2 サービス性能		
Q1のスコア = 3.1			Q2のスコア = 3.2		
Q3 室外環境 (敷地内)			Q3のスコア = 2.1		
LR 環境負荷低減性					
LR1 エネルギー			LR2 資源・マテリアル		
LR1のスコア = 4.0			LR2のスコア = 3.1		
LR3 敷地外環境			LR3のスコア = 3.8		

  

3 設計上の配慮事項					
総合			その他		
室内環境やサービス性能に配慮し、環境品質の向上に努めた			特になし		
Q1 室内環境			Q3 室外環境 (敷地内)		
使用建材全てにF☆☆☆☆製品を使用することで、室内空気質環境へ配慮している			特になし		
LR1 エネルギー			LR3 敷地外環境		
LED照明設備など高効率設備により省エネルギー性に配慮している			充実した駐車駐輪施設の計画に加え、敷地周辺への交通負荷抑制に努めた		

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフケーブルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフケーブルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

## 重点項目スコア・結果シート

(仮称)TRIAL西倉町店新築工事

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト:

CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

重点項目	評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
<b>1. 溫暖化対策</b>			<b>4.1</b>
LR1 エネルギー	4.0	0.4	
LR3.1 地球温暖化への配慮	5.0	0.1	
LR3.2.2 溫熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
<b>2. 自然共生</b>			<b>1.3</b>
Q3.1 生物環境の保全と創出	1.0	0.09	
Q3.3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域性のある材料の使用※1	無	0.009
Q3.2 まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2 敷地内温熱環境の向上	2.0	0.045	
<b>3. 循環型社会</b>			<b>3.2</b>
LR2.1 水資源保護	3.4	0.06	
LR2.2 非再生性資源の使用量削減	3.1	0.18	
LR3.2.3 地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.0	0.01875	

## 結果

### 1. 溫暖化対策

評価点 = 4.1



### 2. 自然共生

評価点 = 1.3



### 3. 循環型社会

評価点 = 3.2



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。